

様式第18号 (第11条関係)

(第1面)

産業廃棄物処理施設設置許可申請書

○年 ○月 ○日

神戸市環境局長 宛

申請日を記入

申請者

法人の場合は、本店の所在地・名称等を記入。

住所 ○○県○○市○○町○-○-○
氏名 ○○株式会社 代表取締役○○ ○○

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 (000)000-0000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条第1項の規定により、産業廃棄物処理施設の設置の許可を受けたので、関係書類及び図面を添えて申請します。

産業廃棄物処理施設の設置の場所	神戸市○○区○○町○-○-○	
産業廃棄物処理施設の種類	廃プラスチック類の破砕施設	
産業廃棄物処理施設において処理する産業廃棄物の種類 (当該産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等が含まれる場合は、その旨を含む。)	廃プラスチック類、紙くず・・・ 以上○種類 (以上、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物を除く)	
着工予定年月日	○年 ○月 ○日	
使用開始予定年月日	○年 ○月 ○日	
※許可の年月日	年 月 日	
※許可番号	第 号	
産業廃棄物処理施設の処理能力	廃プラスチック類 ○t / 日 (8) 時間 紙くず ○t / 日 (8) 時間 m^3 / 時間 t / 時間 面積 m^2 埋立容量 m^3	
△ 産業廃棄物処理施設の位置、構造等の設置に関する計画に係る事項	産業廃棄物処理施設の位置	資料No. 16 のとおり
	産業廃棄物処理施設の処理方法	二軸破砕
	産業廃棄物処理施設の構造及び設備	資料No. 14、19 のとおり
	処理に伴い生ずる排ガス及び排水	量 処理方法 (排出の方法 (排出口の位置、排出先等を含む。)を含む。) 排ガス、排水が発生する場合に記入
	設計計算上達成することができる排ガスの性状、放流水の水質その他の生活環境への負荷に関する数値	
その他産業廃棄物処理施設の構造等に関する事項	特記事項があれば記入	
※ 事務処理欄		

△ 産業廃棄物 処理施設の 維持管理に 関する計画 に係る事項	排ガスの性状、放流水の水質等 について周辺地域の 生活環境の保全のため 達成することとした数値		排ガス、放流水が 発生する 場合に記入
	排ガスの性状及び 放流水の水質の 測定頻度に関する事項		
	その他産業廃棄物処理施設の 維持管理に関する事項		資料No. 11 のとおり
△ 災害防止のための計画 (産業廃棄物の最終処分場である場合)			
焼却灰等、 汚泥等又は 廃石綿等 若しくは 石綿含有産業 廃棄物の溶融 処理に伴い 生ずる廃棄物 の処分方法	特別管理 産業廃棄物 以外 の 産業廃棄物	区 分	自家処分 委託処分
		処分方法	
	特別管理 産業廃棄物	区 分	自家処分 委託処分
		処分方法	
△ 埋立処分の計画 (最終処分場の場合)			
△ 産業廃棄物の搬入及び搬出の時間及び 方法に関する事項			搬入及び搬出の時間 8:00~17:00 (12:00~13:00 は休憩時間) 作業時間内にOt ダンプにて搬出入を行う。

対象の廃棄物が発生
する
場合に記入

(第3面)

申請者 (個人である場合)			
(ふりがな) 氏名	生年月日	本籍 住所	
(法人である場合)			
(ふりがな) 名称	住所		
●●かぶしきがいしゃ 〇〇株式会社	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇		
法定代理人 (申請者が法第14条第5項第2号ハに規定する未成年者である場合)			
(個人である場合)			
(ふりがな) 氏名	生年月日	本籍 住所	
(法人である場合)			
(ふりがな) 名称	住所		
役員 (法定代理人が法人である場合)			
(ふりがな) 氏名	生年月日 役職名・呼称	本籍 住所	
役員 (申請者が法人である場合)			
(ふりがな) 氏名	生年月日 役職名・呼称	本籍 住所	
●●● ●●● 〇〇 〇〇	〇年〇月〇日 代表取締役	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	
●●● ●●● 〇〇 〇〇	〇年〇月〇日 取締役	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	
●●● ●●● 〇〇 〇〇	〇年〇月〇日 監査役	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	

住民票に
あわせて記入

(第4面)

発行済株式総数の100分の5以上の株式を有する株主又は出資の額の100分の5以上の額に相当する出資をしている者（申請者が法人である場合において、当該株主又は出資をしている者がいるとき）

発行済株式の 総数	〇〇〇 株		出資の額	〇〇〇〇 円
(ふりがな) 氏名又は名称	生年月日	保有する株式の数 又は出資の金額	本 籍	
		割 合	住 所	
●●● ●●● 〇〇 〇〇	〇年〇月〇日	〇〇株	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	
		40%	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	
●●しょうじ 〇〇 〇〇		〇〇株	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	
		20%		
●●しょうじ 株式会社 〇〇		〇〇株	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	
		20%		

住民票に
あわせて記入

令第6条の10に規定する使用人（申請者に当該使用人がある場合）

(ふりがな) 氏 名	生年月日	本 籍
	役職名・呼称	住 所
●●● ●●● 〇〇 〇〇	〇年〇月〇日	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇
	〇〇工場 工場長	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇

住民票に
あわせて記入

備考

- ※欄は記入しないこと。
- 産業廃棄物処理施設の種類の種類については、脱水施設、焼却施設、中和施設、最終処分場等の別を記入すること。
- △印の欄の記載については、できる限り図面、表等を利用することとし、かつ、次の図面等を含むこと。
 - 産業廃棄物処理施設の構造及び設備については、当該施設の構造を明らかにする平面図、立面図、断面図及び構造図
 - 排ガス及び排水の処理方法については、処理系統図
- △印の欄にその記載事項のすべてを記載することができないときは、同欄に「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付すること。
- 焼却灰等の処分方法は、令第7条第3号、第5号、第8号、第10号、第12号及び第13号の2に掲げる施設の場合に記入すること。
- 汚泥等の処分方法は、令第7条第4号、第6号及び第11号に掲げる施設の場合に記入すること。
- 廃水銀等の硫化処理に伴い生ずる廃棄物の処分方法は、令第7条第10号の2に掲げる施設に該当する場合に記載すること。
- 廃石綿等又は石綿含有産業廃棄物の熔融処理に伴い生ずる廃棄物の処分方法は、令第7条第11号の2に掲げる施設の場合に記入すること。
- 「法定代理人」の欄から「令第6条の10に規定する使用人」までの各欄については、該当するすべての者を記載することとし、記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、その書面を添付すること。
- 「役員」の欄に記載する役員とは、業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、法人に対し業務を執行する社員、取締役又はこれらに準ずる者と同等以上の支配力を有するものと認められる者を含む。
- 神戸市環境局長が定める部数を提出すること。

※手数料欄

様式第22号（第12条の9関係）

（第1面）

産業廃棄物処理施設変更許可申請書

○ 年 ○ 月 ○ 日

神戸市環境局長 宛

申請者

住所 ○○県○○市○○町○-○-○

氏名 ○○株式会社 代表取締役○○ ○○

（法人にあつては、名称及び代表者の

代表者印は不要

電話番号 (○○○)○○○-○○○○

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の2の6第1項の規定により、産業廃棄物処理施設の変更の許可を受けたいので、関係書類及び図面を添えて申請します。

産業廃棄物処理施設の設置の場所

神戸市○○区○○町○-○-○

産業廃棄物処理施設の種類

廃プラスチック類の破碎施設

許可の年月日

○ 年 ○ 月 ○ 日

許可番号

第 ○○○○ 号

「産業廃棄物処理施設設置許可証」にあわせて記入

変更の内容

産業廃棄物処理施設において処理する産業廃棄物の種類
（当該産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等が含まれる場合は、その旨を含む。）

産業廃棄物処理施設の処理能力

変更後

m³/日 () 時間
t/日 () 時間
m³/時間
t/時間

変更前

m³/日 () 時間
t/日 () 時間

変更のある項目のみ記入

面積 m²
埋立容量 m³

面積 m²
埋立容量 m³

△ 産業廃棄物処理施設の位置、構造等の設置に関する計画

施設を現在の設置場所から南にある建屋内へ移動する
（設置場所の詳細は資料No. 16 施設配置図のとおり）

△ 産業廃棄物処理施設の維持管理に関する計画

変更の理由

業務の効率化のため

着工予定年月日

○ 年 ○ 月 ○ 日

使用開始予定年月日

○ 年 ○ 月 ○ 日

※ 許可の年月日

年 月 日

記入不要

※ 許可番号

※ 事務処理欄

(第2面)

申請者 (個人である場合)		
(ふりがな) 氏名	生年月日	本籍 住所
(法人である場合)		
(ふりがな) 名称		住所
●●かぶしがいしゃ ○○株式会社		○○県○○市○○町○-○-○
法定代理人 (申請者が法第14条第5項第2号ハに規定する未成年者である場合)		
(個人である場合)		
(ふりがな) 氏名	生年月日	本籍 住所
(法人である場合)		
(ふりがな) 名称		住所
役員 (法定代理人が法人である場合)		
(ふりがな) 氏名	生年月日 役職名・呼称	本籍 住所
役員 (申請者が法人である場合)		
(ふりがな) 氏名	生年月日 役職名・呼称	本籍 住所
●●●●●● ○○○○	○年○月○日 代表取締役	○○県○○市○○町○-○-○ ○○県○○市○○町○-○-○
●●●●●● ○○○○	○年○月○日 取締役	○○県○○市○○町○-○-○ ○○県○○市○○町○-○-○
●●●●●● ○○○○	○年○月○日 監査役	○○県○○市○○町○-○-○ ○○県○○市○○町○-○-○

住民票に
あわせて記入

発行済株式総数の100分の5以上の株式を有する株主又は出資の額の100分の5以上の額に相当する出資をしている者（申請者が法人である場合において、当該株主又は出資をしている者がいるとき）

発行済株式の 総数	〇〇〇 株		出資の額	〇〇〇〇 円
(ふりがな) 氏名又は名称	生年月日	保有する株式の数 又は出資の金額	本 籍	
		割 合	住 所	
●●● ●●● 〇〇 〇〇	〇年〇月〇日	〇〇株	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	
		40%	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	
●●しょうじ 〇〇 〇〇		〇〇株		
		20%	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	
●●しょうじ 株式会社 〇〇		〇〇株		
		20%	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	

住民票に
あわせて記入

令第6条の10に規定する使用人（申請者に当該使用人がある場合）

(ふりがな) 氏 名	生年月日	本 籍
	役職名・呼称	住 所
●●● ●●● 〇〇 〇〇	〇年〇月〇日	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇
	〇〇工場 工場長	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇

住民票に
あわせて記入

備考

- ※欄は記入しないこと。
- 産業廃棄物処理施設の種類については、脱水施設、焼却施設、中和施設、最終処分場等の別を記入すること。
- △印の欄の記載については、できる限り図面、表等を利用することとし、かつ、別紙については、次の図面等を含むこと。
 - 産業廃棄物処理施設の構造及び設備に変更がある場合は、変更後の当該施設の構造を明らかにする平面図、立面図、断面図及び構造図
 - 排ガス又は排水の処理方法に変更がある場合は、変更後の処理系統図
 - 排ガス又は排水の量に変更がある場合は、変更後の数値
 - 排ガスの性状に変更がある場合は、大気汚染防止法第6条第2項に規定するばい煙量若しくはばい煙濃度又はダイオキシン類の濃度に係る変更後の数値
 - 放流水の水質に変更がある場合は、最終処分場の場合は排水基準を定める省令第1条に規定する排水基準に掲げる項目及びダイオキシン類に係る変更後の数値
- △印の欄にその記載事項のすべてを記載することができないときは、同欄に「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付すること。
- 変更のある部分については、変更前及び変更後の内容を対照させるものとする。
- 「法定代理人」の欄から「令第6条の10に規定する使用人」までの各欄については、該当するすべての者を記載することとし、記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、その書面を添付すること。
- 「役員」の欄に記載する役員とは、業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、法人に対し業務を執行する社員、取締役又はこれらに準ずる者と同様以上の支配力を有するものと認められる者を含む。
- 神戸市環境局長が定める部数を提出すること。

※手数料欄

事業計画予定地の土地及び建物の所有者・占有使用者一覧

	字・地番	所有者	占有使用者	地目	地積(m ²)
1	土地	株式会社 〇〇	株式会社 〇〇	宅地	〇〇m ²
	建物	株式会社 〇〇	株式会社 〇〇	—	—
2	土地	〇〇〇〇 (氏名)	〇〇〇〇 (氏名)	雑種地	〇〇m ²
	建物	〇〇〇〇 (氏名)	〇〇〇〇 (氏名)	—	—
3	土地	株式会社 〇〇	株式会社 〇〇	雑種地	〇〇m ²
	建物	なし	株式会社 〇〇	—	—
4	土地				
	建物				
5	土地				
	建物				
6	土地				
	建物				
7	土地				
	建物				
8	土地				
	建物				
9	土地				
	建物				
10	土地				
	建物				
合 計					〇〇〇m ²

土地及び建物の
登記簿謄本とあわせる

事業計画予定地の地積の合計値
(土地のみ)を記載

事業計画予定地の隣接土地及び建物の所有者・占有使用者一覧

		字・地番	所有者	占有使用者	地目	地積 (m ²)
1	土地	○区○○町○-○	株式会社○○	株式会社○○	宅地	○○
	建物	○区○○町○-○	株式会社○○	株式会社○○	-	-
2	土地	○区○○町○-○	○○○○ (氏名)	○○○○ (氏名)	雑種地	○○
	建物	○区○○町○-○	○○○○ (氏名)	○○○○ (氏名)	-	-
3	土地	○区○○町○-○	神戸市	神戸市	雑種地	○○
	建物	なし	-	-	-	-
4	土地	<div style="border: 2px solid red; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="color: red; font-weight: bold;">土地及び建物の登記簿謄本とあわせる。 神戸市所有分についても、記載が必要。</p> </div> <p>隣接とは</p> <p>①土地と土地とが直接接すること。</p> <p>②土地と土地は直接接しないが、土地と土地の間に挟まれた道路 (私道を含む。), 河川, 運河等の水路(並行する道路部分を含む。) の幅が 28 メートル未満であること。</p>				
	建物					
5	土地					
	建物					
6	土地					
	建物					
7	土地					
	建物					
8	土地					
	建物					
9	土地					
	建物					
10	土地					
	建物					
合 計						

処理前・処理後の廃棄物保管施設の概況

原則、廃棄物の種類ごとに保管施設を分ける

		処理前		処理後	
所在地		神戸市〇〇区〇〇町〇-〇-〇		神戸市〇〇区〇〇町〇-〇-〇	
面積		〇〇	(m ²)	〇〇	(m ²)
保管する廃棄物の種類		廃プラスチック類		廃プラスチック類	
保管能力 (重量, 体積)		<通常保管量>		<通常保管量>	
		〇〇	(トン)	〇〇	(トン)
		〇〇	(m ³)	〇〇	(m ³)
		<最大保管能力>		<最大保管能力>	
		〇〇	(トン)	〇〇	(トン)
		〇〇	(m ³)	〇〇	(m ³)
構造		<ul style="list-style-type: none"> ・建物内保管 ・コンクリート敷 等 		<ul style="list-style-type: none"> ・建物内保管 ・コンクリート敷 等 	
施行令第6条の基準に適合する措置	飛散に対する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・建屋内に保管する。 ・粉じんの飛散防止として散水を行う。 等		<ul style="list-style-type: none"> ・建屋内に保管する。 ・粉じんの飛散防止として散水を行う。 等	
	流出に対する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・建屋内に保管する。 ・保管施設の周囲に側溝を設置 等		<ul style="list-style-type: none"> ・建屋内に保管する。 ・保管施設の周囲に側溝を設置 等	
	地下浸透に対する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・保管施設の床面をコンクリート構造とする。 等		<ul style="list-style-type: none"> ・保管施設の床面をコンクリート構造とする。 等	
	悪臭発散に対する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・搬入後速やかに処理を行い, 保管期間を短くする。 ・定期的に清掃し, 清潔保持に努める。 等		<ul style="list-style-type: none"> ・処理後速やかに搬出し, 保管期間を短くする。 ・定期的に清掃し, 清潔保持に努める。 等	
	ねずみの生息及び蚊, 蠅等の発生に対する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・搬入後速やかに処理を行い, 保管期間を短くする。 ・定期的に防虫剤等を散布する。 等		<ul style="list-style-type: none"> ・処理後速やかに搬出し, 保管期間を短くする。 ・定期的に防虫剤等を散布する。 等	
保管期間		〇 日間		〇 日間	

保管面積及び最大保管能力の算定根拠が分かる資料(図面, 計算書等)を添付すること

排ガスの性状及び処理方法

排出口		煙突	
排出ガス量 (Nm ³ /h)	湿り	〇〇,〇〇〇	
	乾き	〇〇,〇〇〇	
排出ガス温度 (°C)		〇〇	
排出ガス中の酸素濃度 (%)		〇〇	
ばい煙の濃度	ばいじん (g/Nm ³)	〇〇	
	硫黄酸化物 (容量比 ppm)	〇〇	<div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; color: red;"> 処理に伴い、排ガス が発生する場合に 記入 </div>
	カドミウム及びその化合物 (mg/Nm ³)	〇〇	
	塩素 (mg/Nm ³)	〇〇	
	塩化水素 (mg/Nm ³)	〇〇	
	フッ素、フッ化水素及びフッ化珪素 (mg/Nm ³)	〇〇	
	鉛及びその化合物 (mg/Nm ³)	〇〇	
窒素酸化物 (容量比 ppm)	〇〇		
ばい煙中の硫黄酸化物量 (Nm ³ /h)		〇〇	
排出口の実高 H ₀ × 頂口径 (m)		〇〇 × 〇	
補正された排出口の高さ H _e (m)		〇〇	
排出速度 (m/s)		〇〇	
付近の概要		<div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; color: red;"> 周囲の土地利用 状況、最寄りの民 家、福祉施設等 の方角等を記載 </div>	

放流水の水質・水量・放流方法及び放流先の概況

項目	排水口							維持管理基準	備考
		最大	通常	最大	通常	最大	通常		
1日あたりの排水量									
水質	アルキル水銀化合物								
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物								
	カドミウム及びその化合物								
	鉛及びその化合物								
	有機燐化合物								
	六価クロム化合物								
	砒素及びその化合物								
	シアン化合物								
	ポリ塩化ビフェニル(PCB)								
	トリクロロエチレン								
	テトラクロロエチレン								
	ジクロロメタン								
	四塩化炭素								
	1,2-ジクロロエタン								
	1,1-ジクロロエチレン								
	シス-1,2-ジクロロエチレン								
	1,1,1-トリクロロエタン								
	1,1,2-トリクロロエタン								
	1,3-ジクロロプロペン								
	チウラム								
	シマジン								
	チオベンカルブ								
	ベンゼン								
セレン及びその化合物									
1,4-ジオキサン									

処理に伴い、排水が発生する場合に記入

項目	排水口							維持管理基準	備考
		最大	通常	最大	通常	最大	通常		
水質	ほう素及びその化合物								
	ふっ素及びその化合物								
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物								
	水素イオン濃度(pH)								
	生物学的酸素要求量(BOD)								
	化学的酸素要求量(COD)								
	浮遊物質(SS)								
	ルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)								
	ルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量)								
	フェノール類含有量								
	銅含有量								
	亜鉛含有量								
	溶解性鉄含有量								
	溶解性マンガン含有量								
	クロム含有量								
	大腸菌群数								
	窒素含有量								
	燐含有量								
	ダイオキシン類 ※管理型最終処分場のみ								
	1,2-ジクロロエチレン ※安定型最終処分場のみ								
塩化ビニルモノマー ※安定型最終処分場のみ									
※その他の必要な項目									
※その他の必要な項目									
排水方法									
排出先の概況									
備考									

事業化収支計画の概要

1 施設建設費

機器設備費	〇〇〇,〇〇〇	(円)
土木・建設費	〇〇〇,〇〇〇	(円)
合計	〇,〇〇〇,〇〇〇	(円)

2 管理運営人数

〇〇 (人)

3 年間所要経費 (年間支出)

〇〇〇,〇〇〇 (円)

4 資金の調達方法

会社自己資金
借入 等

5 年間受託処理料金 (年間収入)

〇〇〇,〇〇〇 (円)

(内訳: 〇,〇〇〇円/トン × 〇,〇〇〇トン = 〇〇〇,〇〇〇円)

6 事業化収支

	初年度 (円)	3年後 (円)
年間収入 (5)	〇,〇〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇,〇〇〇
年間支出 (3)	〇,〇〇〇,〇〇〇	〇,〇〇〇,〇〇〇
損益 (5 - 3)	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇

7 非常事態発生時の対策資金の調達方法

金融機関からの借入れ
増資 等

誓 約 書

○ 年 ○ 月 ○ 日

神戸市環境局長 宛

(申請者)

住 所 : ○○県○○市○○町○-○-○

氏 名 : ○○株式会社 代表取締役○○

(法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

(私及び私の使用人(政令で定めるものに限る。))
(当社、当社の役員及び当社の使用人(同上))は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第14条第5項第2号イ、ロ、ハ、ニ、ホ及びへのいずれにも該当していません。

なお、法令に違反した場合は、いかなる処分を受けても異議ありません。

(ひな型)

〇〇年〇〇月〇〇日

同意書

〇〇株式会社 様

住所: 〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇

氏名: 株式会社〇〇 代表取締役〇〇 印

貴社が下記の場所において、産業廃棄物処

代表者あるいは
会社法第918条の登記を受けた同法第10条
又は商法第22条の登記を受けた同法第20条
に規定する「支配人」名による押印が必要

記

1 産業廃棄物処理施設（以下「施設」）の概要

(1) 施設の種類

破碎施設

(2) 施設の処理能力等

〇〇 t/日

(3) 施設の構造の概要

別紙 構造図、処理工程図、処理能力計算書のとおり

(4) 施設の設置場所

神戸市〇〇区〇〇町〇-〇-〇

2 事業の内容

(1) 取扱う産業廃棄物

廃プラスチック類、紙くず・・・

(以上、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物を除く)

(2) 事業計画の概要

別紙 事業計画の概要のとおり

(ひな型)

協 定 書

株式会社〇〇（以下「甲」という。）と〇〇株式会社（以下「乙」という。）は、乙が神戸市〇〇区〇〇に、**廃プラスチック類、紙くず、・・・の破碎施設**（以下「**産業廃棄物**処理施設」という。）を設置し、業務を開始するにあたり、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 乙が**産業廃棄物**処理施設を設置し、業務を行うことによって発生することが予想される環境上の影響が地域住民及び周辺企業に悪影響をおよぼさないように防止するとともに、周辺地域の生活環境を保全することを目的とする。

（施設の操業条件）

第2条 当該施設の操業条件は、次のとおりとする。

- (1) 操業日数
- (2) 操業時間
- (3) 運行車両の数とルート：別紙〇のとおり
- (4) 環境保全措置：別紙〇のとおり

（苦情発生時の処理等）

第3条 乙は当該施設における業務の実施に伴って発生する公害について、甲から苦情を受けたときは誠意を持ってその解決に努めなければならない。

（事故時の措置）

第4条 乙は当該施設において事故が発生したときは、早急に対処するとともに、必要により近隣に対し原因及び経過措置等の情報を開示するものとする。

この協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙それぞれ記名押印のうえ各自1通を保有する。

〇〇年〇〇月〇〇日

代表者あるいは
会社法第918条の登記を受けた同法第10条
又は商法第22条の登記を受けた同法第20条
に規定する「支配人」名による押印が必要

甲：〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇
株式会社〇〇 代表取締役〇〇 〇〇 印

乙：〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇
〇〇株式会社 代表取締役〇〇 〇〇 印